令和6年(2024年)2月那覇市・南風原町
環境施設組合議会 定例会

(午前10時00分 開会)

○議長(多和田栄子)

ただいまから令和6年(2024年)2月那覇市・南風原町環境施設組合議会定例会を開会いたします。

○議長(多和田栄子)

これより本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付をしたとおりであります。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第70条の規定により、議長において古堅茂治議員と、岡崎晋議員を指名いたします。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、お手元に配付をした会期日程のとおり本日、2月2日の1日間にいたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本会議は本日2月2日の1日間に決定いたしました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第3、議案第1号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

議案第1号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任について、提案理由をご説明申し上げます。

本組合監査委員の金城満珠男氏の任期が令和6年2月26日付で満了になることに伴い、この後任について慎重に検討を行いましたところ、同氏を再任することが最適であると思慮いたしますので、那覇市・南風原町環境施設組合規約第13条第2項の規定に基づき議会の同意を得るため、この案を提出いたします。

よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

討論なしと認め、これを終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより採決を行います。

議案第1号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任については、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第4、議案第2号、令和5年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

議案第2号、令和5年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算(第2号)について、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正は、補正予算第1号後の新たな状況の変化により補正の必要が生じたので、歳入歳出予算をそれぞれ9,727万7,000円増額補正するものであります。これにより、補正後の一般会計予算額は、歳入歳出それぞれ41億8,435万円となります。

まず、歳入予算の概要についてご説明申し上げます。

第1款の分担金及び負担金は194万1,000円の増額補正で、那覇市クリーン推進課使用の電気料金の増額及び修繕の負担金によるものであります。

第4款の財産収入は1億7,000万円の増額補正で、余剰電力売払料及び有価物売払料の増額によるものであります。

第5款の繰入金は1億4,466万4,000円の増額補正で、財政調整基金繰入金、施設整備基金繰入金及び還元施設基金繰入金の減によるものであります。

第7款の諸収入は7,000万円の増額補正で、他団体ごみ処理受託収入の増額見込み

によるものであります。

次に、歳出予算の概要についてご説明申し上げます。

第2款の総務費は7,763万円の減額補正で、人事異動及び実績に伴う人件費等の増、入札残等による委託料及び使用料の減、環境の杜ふれあいの修繕入札の執行残によるものであります。

第3款の衛生費は1億504万円の増額補正で、清掃総務費において人事異動及び実績に伴う人件費等の減と旅費の減、負担金補助及び交付金の減、有価物売払料及び他団体ごみ処理受託収入の増額見込みによる積立金の増によるものであります。

塵芥処理費(中間処理)において入札残等による消耗品、修繕費及び役務費、委託料と原材料費の減によるものであります。

そのほか、債務負担行為補正については第2表のとおりであります。

以上が議案第2号、令和5年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算(第2号)の概要でございます。よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

大変失礼いたしました。先ほどの議案第2号の第5款の繰入金のところでは1億4,466万4,000円の減額補正と言うべきところを、私、増額補正と発言してしまいました。大変申し訳ありません。訂正して第5款の部分だけもう一度読み上げたいと思います。

議案第2号の第5款の繰入金の内容でございます。第5款の繰入金は1億4,466万4,000円の減額補正で、財政調整基金繰入金、施設整備基金繰入金及び還元施設基金繰入金の減によるものであります。

お詫びして訂正いたします。失礼いたしました。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入ります。

発言通告書が提出されていますので、発言を許可します。

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

それでは議案第2号、一般会計補正予算について、ごみ処理受託収入の背景について質疑いたします。

○議長(多和田栄子)

玉寄次長兼所長。

○次長兼所長(玉寄博道)

お答えいたします。今回のごみ処理受託収入増額の背景につきましては、令和2年5月に沖縄県本島内に所在する一般廃棄物処理施設11団体で締結されました、一般廃棄物処理業務の相互協力に関する協定に基づき、南部広域行政組合の東部環境美化センターからの炉の補修整備工事等に伴う、緊急的なごみの受入れ依頼によるものです。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

2回目の質疑です。ごみ処理受託の実績とその受入れによる影響について質疑いたします。

○議長(多和田栄子)

新垣クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(新垣和彦)

お答えいたします。令和5年度は5月が1,118トン、6月が50トン、8月が330トン、9月が252トンで合計1,750トンとなり、約7,000万円の歳入となっております。また影響につきましては、一般廃棄物処理業務の相互協力に関する協定に基づき、本施設の余力の範囲内で受け入れていることから、操業に影響はありません。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

最後の質疑です。今回の東部環境美化センターのごみ処理受託は、あらかじめ想定されていたと思いますが、この時期での補正予算を計上した理由について質疑いたします。併せて、今後本ごみ処理施設の余力の範囲で積極的にごみ処理受託をすることによって、歳入を増やしていけると考えますが、今後の見通しについて質疑いたします。

○議長(多和田栄子)

新垣クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(新垣和彦)

お答えいたします。他の施設からの炉の補修整備工事等に伴う緊急的な依頼であるため、当初予算には見込んでいないことから今回の補正となっております。今後も相互協定に基づき、本施設の余力の範囲内で受入れを検討してまいります。

○議長(多和田栄子)

以上で通告書に基づく質疑は終了しました。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

討論なしと認め、これを終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより採決を行います。

議案第2号、令和5年度那覇市・南風原町環境施設組一般会計補正予算(第2号)は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第5、議案第3号、令和6年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計予算を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

それでは議案第3号、令和6年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計予算について提案理由をご説明申し上げます。

令和6年度一般会計の予算額は34億7,183万1,000円で、前年度に比べて4億8,872万7,000円、約12.3%の減となっております。

それでは、歳入予算の概要をご説明申し上げます。

第1款分担金及び負担金は14億2,829万円で、対前年度比1億479万8,000円、約6.84%の減となっております。主な要因は、ごみ処理施設管理運営負担金、周辺まちづくり事業負担金及び焼却灰資源化に係る費用を含む基幹的設備改造工事等負担金などの減によるものです。

なお、令和6年度のごみ処理に係る負担金の負担割合は、那覇市89.67%、南風原町10.33%となっております。

第3款国庫支出金は1億円で、対前年度比3億6,095万5,000円、約78.3%の減となっております。主な要因は、周辺まちづくり事業の減、焼却灰資源化に係る費用を含む基幹的設備改造、改良事業の減によるものです。

第4款財産収入は5億685万8,000円で、対前年度比4,110万1,000円、約8.8%の増となっております。主な要因は、余剰電力売払料の増によるものです。

第5款繰入金は8億1,542万円で、対前年度比2億4,397万1,000円、約42.7%の増となっております。主な要因は、施設整備基金繰入金、還元施設基金繰入金の増によるものです。

第6款繰越金は費目存置であります。

第7款諸収入は1,272万5,000円で、対前年度比122万2,000円、約8.8%の減となっております。主な要因は、ごみ処理受託収入の減によるものです。

第8款組合債は9,000万円で、対前年度比3億1,140万円、約77.58%の減となっております。主な要因は、周辺まちづくり事業の減、焼却灰資源化に係る費用を含む基幹的設備改造、改良事業の減によるものです。

次に歳出予算の概要についてご説明申し上げます。

第1款議会費は556万6,000円で、対前年度比218万1,000円、約64.43%の増となっております。

第2款総務費は1億5,486万8,000円で、対前年度比291万円、約1.9%の増となっております。主な要因は、一般管理費の給与、職員手当、共済費等の増、環境の杜ふれあい管理運営費の需用費、委託料、使用料及び賃借料の増によるものでございます。

第3款衛生費は30億8,086万3,000円で、対前年度比4億9,972万3,000円、約14%の減となっております。主な要因は、焼却灰資源化に係る費用である塵芥処理費(中間処理)の基幹的設備改良工事の減によるものであります。

第4款公債費は2億53万4,000円で、対

前年度比590万5,000円、約3%の増となっております。主な要因は、基幹的設備改造に関する起債償還額の増によるものであります。

第5款予備費は3,000万円で、前年度と同額となっております。そのほか債務負担行為については第2表、地方債につきましては第3表のとおりであります。

以上が、議案第3号、令和6年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計予算の概要でございます。

よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

討論なしと認め、これを終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより採決を行います。

議案第3号、令和6年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計予算については、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第6、議案第4号、議決内容の一部変更について(那覇市・南風原クリーンセンター灰出し設備改良工事)を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

それでは、議案書等の3ページから6ページ、提案理由の説明の5ページをお願いいたします。

議案第4号、議決内容の一部変更について提案理由をご説明申し上げます。

本案は令和5年8月10日に、那覇市・南風原町環境施設組合議会で議決された議案第8号、那覇・南風原クリーンセンター灰出し設備改良工事に係る工事請負契約について、設計変更に伴う工事請負変更契約であります。設計変更の主な内容といたしましては、8月の契約後に行った定期点検の結果、焼却灰を排出するための主灰スクリーンのプーリーをはじめ、モーターや軸など、駆動装置の摩耗が進行していることが新たに分かったことから、主灰スクリーンの主要部分を更新するものであります。また、本装置は稼働から18年が経過しており、焼却灰を外部へ搬出する際の主要な装置の一つであることから、今後も引き続き活用するため延命化対策が必要であり、本工事に追加し取替えを行うための増額変更であります。変更前の金額は6億8,640万円、変更後の金額は7億3,346万9,000円で、4,706万9,000円の増額となり、現請負業者でありますJFEエンジニアリング株式会社九州支店と令和5年12月27日付で仮契約を締結しております。

よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

討論なしと認め、これを終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより採決を行います。

議案第4号、議決内容の一部変更について(那覇市・南風原クリーンセンター灰出し設備改良工事)は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第7、議案第5号、修繕請負契約について(令和6~7年度 焼却設備等定期修繕)を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

それでは議案書等の7ページから8ページ、提案理由説明の6ページをお願いいたします。

議案第5号、修繕請負契約について、提案理由をご説明申し上げます。

本案は、那覇市・南風原町環境施設組合議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、または処分に関する条例第2条に規定する

予定価格1億5,000万円以上の修繕を行うため、提出するものでございます。

本修繕は、那覇・南風原クリーンセンターにおける令和6~7年度の焼却設備等定期修繕として、ごみ処理施設全体の機能の保全、回復による安全・安定的な操業を目的とし、毎年定期的を実施するものであります。

内容としましては、焼却設備及び発電設備などの各機器類の分解、清掃、点検及び消耗部品類の交換を行うとともに、ボイラー設備、アンモニア気化器につきましては、整備・修繕後、認定検査機関による法定検査を受検するものであります。

契約の方式につきましては、去る令和5年11月22日に開催された、那覇市・南風原町環境施設組合ごみ処理施設管理運営委員会において承認を得たのち、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく随意契約により、請負金額10億1,640万円でJFEエンジニアリング株式会社九州支店と令和5年12月26日付で仮契約を締結しております。

よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

討論なしと認め、これを終結いたします。

○議長(多和田栄子)

これより採決を行います。

議案第5号、修繕請負契約について(令

和6～7年度 焼却設備等定期修繕)は、
原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第8、報告第1号、専決処分の報告
について(修繕請負金額の変更)を議題と
いたします。

提案者の説明を求めます。

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

それでは、議案書等の9ページから17
ページ、提案理由説明の7ページをお願い
いたします。

報告第1号、専決処分の報告について、
報告理由をご説明申し上げます。

本件は、令和4年2月4日に那覇市・南
風原町環境施設組合議会で議決された議案
第4号、令和4から5年度焼却設備等定期
修繕に係る修繕請負契約について、設計変
更に伴う修繕請負変更契約の専決処分をし
たものであります。

設計変更の主な内容といたしましては、
契約締結後に新たに確認された経年劣化に
よる主灰破砕機の部品交換や、タービン排
気復水器ファン室波板補修などを行うため
の増額変更であります。変更前の金額は11
億596万2,000円で、変更後の金額は11億
1,191万3,000円となり、595万1,000円の増
額となります。

なお、本件は地方自治法第180条第1項

の規定に基づき、議会の議決により平成12
年2月17日付で管理者の専決処分事項とし
て指定された「契約金額の100分の5以内
で、1,000万円以下の契約価格の変更」の
事項として、令和5年12月26日に専決処分
を行い、同日付けで修繕請負変更契約を締
結しましたので、同条第2項の規定により
ご報告いたします。

○議長(多和田栄子)

これより質疑に入りますが、通告書に基
づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

これで、報告第1号、専決処分の報告に
ついて(修繕請負金額の変更)を終了いた
します。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

日程第9、これより一般質問を行います。
この際、申し上げます。

本日の一般質問に関する発言の割り当て
時間は、答弁を含めて各議員30分以内とい
たします。

発言通告書が提出をされておりますので、
通告書に従って順次発言を許可いたします。

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

ハイサイ、グスーヨー、チューウガナビ
ラ。日本共産党オール沖縄の古堅茂治です。
一般質問を行います。

令和6年度2024年度一般会計予算案の特
徴と那覇市・南風原町環境施設組合の課題
について伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

令和6年度の一般会計予算の特徴といたしましては、総務費の環境の杜ふれあい管理運営費において、空調設備更新修繕費2,046万円を計上しております。衛生費の塵芥処理費（中間処理）において、クリーンセンターの修繕費として約11億9,000万円を計上しております。また、灰炉融炉の休止に伴う焼却灰搬出のため、大型ダンプの購入費2,117万円を計上しております。

課題といたしましては、本クリーンセンターの主要設備の延命化を図るため、交付金を活用した更新工事に取り組んでまいりたいと考えております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

当局から答弁はありませんでしたが、課題の一つとして人事院勧告に基づいて、正規職員の給与の引上げ分は、昨年4月に遡って支給されています。しかし非正規の会計年度任用職員には、昨年4月から12月までの給与の引上げ分が支給されていません。この問題の是正、改善も課題となっています。会計年度任用職員に対して正規職員と同様に給与増額分を遡及しないのは、総務省の通知と同一労働、同一賃金、職員平等の原則にも反します。そこで母体の那覇市議会では、与党の一部と野党の計20名の議員が予算決算委員会を退場して、会計年度任用職員にも常勤職員と同じく給与増額分を昨年4月から遡って支給すべき遡及すべきとの強い意志を当局に突きつけました。そして退場しなかった議員も含めて全会一致で会計年度任用職員の給与支給に関する附帯決議を採択し、会計年度任用職員への給与の増額分の遡及実施を市議会全体の意志として知念市長に求めました。知念市長も議会の強い意志を受け止めて遡及を

表明しています。那覇市・南風原町環境施設組合でも10名と聞いていますが、会計年度任用職員に昨年4月分から給与増額分を遡及すべきだと考えます。管理者の知念市長の答弁を求めます。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

総務企画課のほうで答弁させていただきます。

当組合の会計年度任用職員は10名で、給与等については那覇市会計年度任用職員の給与等に関する条例を準用することになっていることから、那覇市の動向を確認しながら組合も同様に進めてまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

会計年度任用職員もこの施設を支える重要な役割を担っています。ぜひ正規職員と同じように遡及されるようにしてください。

次に令和6年度、令和7年度の焼却設備等定期修繕について伺います。

○議長(多和田栄子)

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

お答えいたします。

焼却設備等定期修繕は、ごみ処理施設全体の機能保全・回復による安全・安定的な操業を目的として、毎年定期的を実施しており、主に設備の運転を停止して運転中にできない各機器の内部点検や清掃・補修等を行うものであります。

本定期修繕で行う法定検査につきましては、国の認定検査機関による4年に1回の蒸気タービン設備並びに2年に1回のボイラ設備の定期事業者検査、及び毎年実施されるアンモニア設備の第一種圧力容器検査

を実施する予定であります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

こういう大型プラントでは、定期修繕はなくてはならないものです。那覇・南風原クリーンセンターの令和4年度、令和5年度、焼却設備等定期修繕と、灰出し設備改良工事に係る工事請負契約において、契約締結後に新たに確認された経年劣化、設計変更、増額変更の必要性、事業費の積算等の適切な精査への取組について伺います。

○議長(多和田栄子)

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

お答えいたします。

焼却設備等定期修繕につきましては、契約締結後に主灰破砕機の主要部品や、タービン排気復水器ファン室波板等の経年劣化が新たに確認され、部品交換や補修のために設計変更を行うものであります。これは施設の操業継続のために必要な増額変更であります。

また、灰出し設備改良工事につきましては、契約締結後に行った定期点検において、焼却灰を排出するための主灰スクリーンのプリーをはじめ、モーターや軸など駆働装置の摩擦が進行していることが新たに確認され、主要部分を更新するために設計変更を行うものであります。さらに、本装置は稼働から18年が経過しており、焼却灰を外部へ搬出する際の主要な装置の一つとなっていることから、今後も引き続き活用するため延命化対策が必要であり、本工事に追加し取替えを行うための増額変更であります。

修繕や改造工事の工事費の算定につきましては、プラントメーカーから徴取した見

積書を精査し、公益社団法人全国都市清掃会議発行の廃棄物処理施設点検補修工事積算要領や、循環型社会形成推進交付金交付取扱要領などにに基づき、これまでの作業実績も考慮し精査・査定を行い算出しております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

点検補修工事等の費用の推移について伺います。

○議長(多和田栄子)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

お答えいたします。

点検補修工事に係る修繕費等の推移につきましては、令和2年度は基幹的設備改造工事費も含めて約16億7,338万円、令和3年度は約9億9,496万円、令和4年度は約8億9,372万円となっております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

施設の経年劣化が進む中、修繕費用は多額にあります。公益社団法人全国都市清掃会議では、廃棄物処理施設の長寿命化のためには、基幹的設備改良工事だけでなく、日常的に行われる点検補修工事も非常に重要なものとなっている。廃棄物処理施設の点検補修工事は、その特殊性等からプラントメーカーに随意契約で発注する例も多く、積算は見積りによらざるを得ないものも少なくなく、一方で地方公共団体には事業の透明性の確保や、説明責任がますます求められており、廃棄物処理施設の点検補修工事においても適切な積算基準に基づいた事業費の算定が重要となっているとして、地方公共団体の一助とするため作成していた

廃棄物処理施設点検補修工事積算要領及び廃棄物処理施設維持管理業務積算要領が10数年ぶりに改訂し、令和5年度2023年度版を発行しています。そこでプラントメーカーの言いなりにならず、高い費用対効果を生み出す頼もしい力となります本組合職員の積算能力と技術力アップへの取組について伺います。

○議長(多和田栄子)

末吉施設担当課長。

○施設担当課長(末吉智)

お答えいたします。

これまで本組合では、職員の積算能力と技術力向上のため、東京23区清掃一部事務組合が開催する設計積算技術研修の受講、及び一般財団法人日本環境衛生センターが開催する廃棄物処理施設技術管理者講習の受講後、能力認定試験に合格し、廃棄物処理施設技術管理士の資格を取得しております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

高く評価いたします。10数年ぶりの積算要領の改訂の主な特徴を伺います。

○議長(多和田栄子)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

お答えいたします。

主な改訂内容としまして、廃棄物処理施設点検補修工事積算要領につきましては、ダイオキシン類のばく露防止対策をはじめ、各種法令の語句の変更に伴う改訂、環境省が廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引きを作成したことによる記載の変更、及び国土交通省公共建築工事積算基準等資料の改訂に伴う各積算基準の改訂等であります。

また、廃棄物処理施設維持管理業務積算要領につきましては、ダイオキシン類のばく露防止対策をはじめ、各種法令の語句の変更に伴う改訂、及び国土交通省建築保全業務積算基準等資料の改訂に伴う各積算基準の改訂等であります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

10月定例会でも提案しましたが、10数年ぶりの改訂積算要領の研修会への本組合職員の派遣について伺います。

○議長(多和田栄子)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

お答えいたします。

令和5年12月に開催された公益社団法人全国都市清掃会議が主催する、廃棄物処理施設積算要領研修会へ本組合技術職員2名を派遣し、職員の積算能力と技術力向上に努めております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

評価いたします。

次に持ち込みごみの現状について伺います。

○議長(多和田栄子)

玉寄次長兼所長。

○次長兼所長(玉寄博道)

お答えいたします。

近年持ち込みごみの車両が増加傾向にあり、施設内の安全を確保するために車両台数の調整が必要であったことや、本来は本施設に持ち込むことができない廃棄物の混入を防ぐなどの理由から、令和3年12月より持ち込みごみの事前受付を行っております。

令和4年度実績は、年間2万1,804件、月平均1,817件、令和5年度は4月から12月までの9か月間で1万5,921件、月平均1,769件となっております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

月平均1,700回、非常に多いですね。私も昨年弟の遺品整理で、持ち込みを利用させていただきました。職員の対応はとても丁寧、親切でした。しかし車での施設内移動に戸惑い、料金を支払わずに施設外に出て後で電話で請求され、慌てて戻ってきました。初めて利用する住民が持ち込みごみの搬入を安心・安全、スムーズにできるように路面へのカラー塗装で分かりやすく誘導できるよう改善すべきです。対応を伺います。

○議長(多和田栄子)

玉寄次長兼所長。

○次長兼所長(玉寄博道)

お答えいたします。

クリーンセンター施設内の搬入路につきましては、現在進めている当該外構修繕において区画線等の路面標示を行い、持ち込みごみを安全・スムーズに搬入できるよう改善してまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

ぜひ路面への分かりやすいカラー塗装での安全誘導をお願いいたします。

還元施設の環境の杜ふれあい、環境の杜ふれあい公園の状況と課題について伺います。

○議長(多和田栄子)

玉寄次長兼所長。

○次長兼所長(玉寄博道)

お答えいたします。

還元施設の環境の杜ふれあいの状況につきましては、利用者数はコロナ禍より順調に回復しております。利用者数につきましては、令和2年度は10万3,997人、令和3年度は5万5,333人、令和4年度は14万836人、令和5年度は12月までの利用人数でございますが11万7,419人となっております。

次に課題につきましては、平成19年7月に供用開始され16年が経過しており、施設の設備や機器の老朽化が課題となっております。今後、施設の修繕計画に基づき修繕を行ってまいります。

環境の杜ふれあい公園の状況につきましては、現在、園路灯や東屋、ベンチ等の設置が完了し、引き続き遊具やフェンス等の設備を進めているところでございます。

課題としましては、3区画の未買収用地があり交渉に難航しておりますが、引き続き進めてまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

多くの利用者があることが分かります。

次に、ごみ処理施設と環境の杜ふれあい施設、環境の杜ふれあい公園の管理運営負担金の割合について伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

負担金の割合については、那覇市・南風原町環境施設組合同規約第16条に定められております。

はじめに、ごみ処理施設等に係る負担金は、那覇・南風原クリーンセンターへのごみ搬入量の実績割により算出しております。実績割は、負担金を支出する年度の前々年

度における那覇・南風原クリーンセンターへのごみ搬入量に基づき、百分率で算出するものとして、平成19年4月18日に那覇市、南風原町、那覇市・南風原町環境施設組合の三者で覚書を締結しております。

令和6年度の負担金の割合は、那覇市89.67%、南風原町10.33%となっております。

次に、還元施設「環境の杜ふれあい」及び還元施設「環境の杜ふれあい公園」の管理運営負担金は、那覇市100分の85、南風原町100分の15の割合により算出した額となっております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

還元施設の管理運営費の負担割合が南風原町が15%、那覇市が85%、そしてごみ処理施設は那覇市が89.6%、南風原町が10.33%、5ポイントも還元率が南風原町が高い、そういう状況にあります。

そこで還元施設「環境の杜ふれあい施設」「環境の杜ふれあい公園」の目的を伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

還元施設「環境の杜ふれあい」は、新ごみ処理施設の建設に伴い、周辺7自治会への負担軽減を目的とする地域還元施設として建設され、平成19年7月から供用開始しております。スポーツ・レクリエーション活動等の普及及び振興を図り、並びに地域コミュニティ及び環境学習等の発信拠点とすることを目的としております。

また「環境の杜ふれあい公園」につきましては、「環境の杜ふれあい」の背後地に

ある既存緑地等を保全活用した公園として整備し、地域に根差した施設、健康をサポートする施設、環境と共生する施設とすることを目的としております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

この環境組合施設を建設する際には、当時の翁長市長が何度も南風原町、そしてこの近隣住民を訪ねて話を重ねて、そしてこの施設が完成しています。その恩を忘れてはならないと思います。

ところで、この還元施設の目的からして、5ポイントも高い南風原町の管理運営費の負担割合をごみ処理施設の管理運営費の負担割合と同じにすべきです。見解を伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

一部事務組合の経費の支弁の方法につきましては、地方自治法第287条第1項において規約で定めることになっており、還元施設の管理運営費の割合につきましても、平成18年12月の構成市町の議会においてご審議をいただき、那覇市・南風原町環境施設組合規約で定められるものとなっております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

時がたつとリスクが薄れてきます。那覇市民は、大事なごみ処理施設のある南風原町と地域住民への感謝の心を忘れてはならないと思います。これは那覇市側の英断が必要です。ごみ処理施設と関連施設の管理運営費の負担割合は同じ割合とすべき

です。南風原町に余分な負担をさせてはならないと考えます。両自治体の協議を求めたいと思います。

次に環境の杜ふれあい公園の自然学習等への活用について伺います。

○議長(多和田栄子)

玉寄次長兼所長。

○次長兼所長(玉寄博道)

お答えいたします。

環境の杜ふれあい公園の自然学習等への活用につきましても、既存緑地等を保全活用した公園として整備しており、今後、利用者が自然にふれあえる公園として活用できるように進めてまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

ハブ対策について伺います。

○議長(多和田栄子)

平田クリーンセンター主査。

○クリーンセンター主査(平田進二)

お答えいたします。

ハブ対策といたしましては、ハブが生息しにくい環境や、見通しのよい環境を保つため、定期的に除草・清掃を行っており、引き続き対策を行ってまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

何か問題が発生したときに、公園利用に関する注意事項、案内看板の設置が問われます。その設置について伺います。

○議長(多和田栄子)

平田クリーンセンター主査。

○クリーンセンター主査(平田進二)

お答えいたします。

公園を安全・快適に利用していただけるように、公園の禁止・注意事項に関する看

板を設置し、公園利用者へ周知を行っております。また、公園を専用して使用する場合等の問い合わせ先といたしまして、本組合の連絡先を表示し案内しております。今後におきましても利用状況等に応じて必要な案内看板を設置し、対策してまいります。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

この前、全員協議会でいい知らせがありました。さくら植樹について伺います。

○議長(多和田栄子)

平田クリーンセンター主査。

○クリーンセンター主査(平田進二)

お答えいたします。

桜の植樹につきましては、公益財団法人イオン環境財団の設立30周年記念事業として、さくらの名所づくりの取組の一環で、令和6年2月29日に50本のエゾヒカンザクラの植樹を予定しております。植樹した桜につきましては、本組合に寄贈されることとなっております。

○議長(多和田栄子)

古堅茂治議員。

○6番(古堅茂治)

那覇市と南風原町になくてはならない大切な施設の安全・安定操業に力を尽くしておられる本組合の全ての職員等関係者に心から敬意を表します。引き続き力を発揮して頑張ってください。イッペー、ニフェーデービル。ありがとうございました。

○議長(多和田栄子)

続きまして、金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

金城亮太です。通告に基づき一般質問を一問一答で行います。よろしく願いいたします。

環境の杜ふれあいの利用料等について伺

います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

還元施設「環境の杜ふれあい施設」の利用料金は、環境の杜ふれあい条例第7条に基づき、指定管理者が定めております。

構成市町である那覇市、南風原町に居住または事業所で勤務する方々については、個人当日利用の場合、例としてトレーニングルーム、2時間以内ですが一般260円、浴室同じく2時間以内で一般680円、この場合浴室利用で岩盤浴利用の場合一律1,100円となっており、構成市町以外の方が利用する場合は、当該額に100分の20に相当する金額を加算しております。

団体予約利用の場合は、例といたしまして体育施設全面1時間3,000円、研修室1時間1,000円、会議室1時間600円、談話室1時間600円、多目的広場占用のみ1時間1,000円となっております。

構成市町以外の方が利用する場合は、当該額に100分の50に相当する金額を加算しております。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

周辺7自治会の自治活動のため利用した場合の対応について伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

周辺7自治会が自治活動等のため申請した場合は、環境の杜ふれあい条例施行規則第4条第1項第3号により半額としております。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

今回このことについて質問したのは、最後のほうにいただきました周辺7自治会は自治活動等のため利用する場合は、環境の杜ふれあい条例施行規則により半額にしているということです。

周辺7自治会でない地域の自治会の方からなぜそうなっているのかと私に対して問い合わせがありました。その自治会の方々が多目的広場を利用した際に、その周辺7自治会のメンバーと思われる方から「あなたたちの利用料は高いね」と言われたそうで、そこのスタッフに尋ねたところ、「そのように決まっている」としか説明がなかったようです。調べたところ、環境の杜ふれあいのホームページにも同様の内容が掲載されておりました。しかしこの条例施行規則を確認しましたが、7自治会の明記はされていないと思いますが、どこを指すのか伺いたいと思います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

周辺7自治会は、内訳といたしまして、那覇市は鳥堀町自治会、県営鳥堀市街地住宅自治会、城東団地自治会。南風原町は宮城区、大名区、新川自治会、東新川自治会となっております。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

今言った周辺7自治会ですが、本ごみ処理施設を囲む地域で、伺ったところによると半径500メートルにかかる自治会、地域であると。また歴史的にも旧施設の区から

悪臭などの苦情等があったというところでありました。

そうした中でこの環境の杜ふれあいの建設した目的とこれまでの経緯について伺いたいと思います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

還元施設「環境の杜ふれあい」は、新ごみ処理施設の建設に伴い周辺7自治会への負担軽減を目的する地域還元施設として建設され、平成19年7月から供用開始しております。

スポーツ・レクリエーション活動等の普及及び振興を図り、並びに地域コミュニティ及び環境学習等の発信拠点とすることを設置の目的としております。

建設の経緯につきましては、那覇・南風原クリーンセンターの建設以前の周辺状況は極めて厳しいものがあり、那覇市管理の旧最終処分場や、旧ごみ処理施設から発生するごみの飛散や悪臭及び汚濁水の流出等の問題で、周辺7自治会の住民の方々への生活環境への影響、特に南風原町4自治会の方々に大変なご迷惑をおかけしている状況でございました。

旧最終処分場やごみ処理施設建設等において、多大なご協力を頂いた周辺7自治会である地元に戻元できる施設をとという趣旨のもと建設に至っております。

還元施設「環境の杜ふれあい」は、建設計画に当たって、周辺7自治会の代表者で構成される還元施設建設協議会を設置し、周辺地域とのワークショップ等を実施し住民意見を把握した上で、基本計画、基本設計を反映した実施計画を経て、還元施設建設に至っております。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

こうした経緯については、当事者でなければなかなか知る機会がないと思います。同じ構成市町でも周辺7自治会とは料金が違うことについて、単に決まったことだと説明を聞いても納得できない方もいると思います。他の自治会との摩擦が生じかねません。本ごみ処理場や還元施設ができてから15年以上が経過しております。今後ますますそうしたことを知らない世代が増えてくると思います。次の世代にもそうした歴史を引継ぎ、理解を促すためにもホームページや還元施設の一画にパネルや映像資料を展示するなど、あらゆる機会を捉えて周知していく必要があると思いますが、取組について考えを伺います。

○議長(多和田栄子)

赤嶺総務企画課長。

○総務企画課長(赤嶺薫)

お答えいたします。

現在、当組合のホームページで「当組合のあゆみ」を掲載しておりますが、今後、周知の方法等も含め検討してまいりたいと考えております。

○議長(多和田栄子)

金城亮太議員。

○3番(金城亮太)

お願いいたします。

以上で一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長(多和田栄子)

これをもって、本定例会における一般質問を終了いたします。

~~~~~

○議長(多和田栄子)

次に、議決事件の条項・字句及び数字等の整理について、お諮りいたします。

本定例会において議決されました議案については、会議規則第37条の規定により、その条項・字句・数字・その他の整理を要するものについては、それを議長に委任されたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(多和田栄子)

ご異議なしと認めます。よって、条項・字句・数字・その他の整理は議長に委任することに決定いたしました。

○議長(多和田栄子)

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これにて、令和6年(2024年)2月那覇市・南風原町環境施設組合議会定例会を閉会いたします。

ニフェーデービタン。お疲れさまでした。

(午前11時 3分 閉会)

上記のとおり議事録を整理し、署名する。

議 長

署名議員

署名議員